

北海道は地震が少ない、本州のような大地震が発生しないと思われていました。しかし、まさか、まさかの大地震が発生しました。9月6日午前3時07分 厚真町を震源とするマグニチュード7.1。北海道民みんなが驚きました。発生以来、間もなく停電となり、道内全体が約2～3日間の停電生活。久しぶりに戦時中を彷彿させる生活が続きました。あれからほほひと月余が経過し、全ての活動が復旧しましたが、今回の地震で亡くなられた方々、そして震源地の厚真町の皆様並びに清田区里塚地区の液状化に見舞われた地域の方々に心からお見舞い申し上げます。わがしんえい西自治会地域では幸い大きな被害はなかったようですが、あらためて自然災害の恐ろしさ、そして人間の無力さを感じた今回の地震だったのではないのでしょうか？

秋空のもと、自治会懇親焼肉パーティを開催

去る、9月1日(日)自治会懇親焼肉パーティを開催しました。この行事は、自治会の3大行事のひとつでもあります。約ひと月前から参加者を募り、各班長、役員の協力を頂き、全員で作上げた懇親焼肉パーティです。当日は、曇一つない絶好の秋空のもと、鈴木清田中央地区町連会長並びに奥山南中央町内会会長をご来賓として迎え、会員110名の参加のもと午前11時に開会しました。花松新会長の「このような焼肉パーティは当自治会独特のものです。よい機会ですので相互に懇親を深めて意義のあるパーティとなることを願っています。」との挨拶に続いて、鈴木町連会長の祝辞を頂き、瀬戸山総務部長の音頭で乾杯しました。会場内はたちまちのうちに薄青の煙と美味しそうな焼肉の匂いに包まれ、方々で談笑や笑い声が響きにぎやかなムードとなりました。会場横手には、「児童絵画展」の特設ボードも設置され、焼肉パーティに花を添えてくれました。パーティの後半は、児童絵画応募の表彰、綿あめ、ビンゴゲーム等で盛り上がり午後1時40分予定した全ての行事は終了し堀川会計部長の閉会のことばで終了しました。



・花松新会長の挨拶



・焼肉パーティ風景



・児童絵画展(全18点)

自治会功労者のお二人に感謝状を贈呈

自治会では、自治会の業務運営に長期間にわたってご尽力を頂いた古部貞春氏(顧問)と坪坂 昇氏(前会長)のお二人に自治会長感謝状を贈呈しました。贈呈は、9月1日(日)懇親焼肉パーティの開会に先だって花松会長から贈呈されました。以下、お二人の感謝状の全文をご紹介します。

感謝状

古部貞春 殿

あなたは平成四年七月しんえい西自治会組織を立ち上げられ 初代自治会長に推挙される十二年間にわたり自治会長並びに地区民生委員としての職を全うされました 更に平成十六年五月から自治会顧問に就任 通算二十六年の長期にわたって要職を歴任されました この間 各役職在任中は明朗闊達な性格と高い見識をもって会員の融和協調性を醸成し 設立二十年もない若い自治会を統率され『明るく住みよい街づくり』の基盤に貢献されました

よって ここに金一封を贈りその功績を称え深く感謝の意を表します

平成三十年九月一日

しんえい西自治会

会長 花 松 肇

感謝状

坪坂 昇 殿

あなたは平成十四年五月から平成三十年四月までの間 通算十六年の長きに亘り会計部長 総務部長並びに自治会長の要職を全うされました この間 各役職在任中は明朗闊達な性格と高い見識をもって会員の融和協調性を醸成し 設立二十八年余の若い自治会をよく統率され『明るく住みよい街づくり』の基盤に貢献されました

この度 自治会長ご勇退にあたり金一封を贈りその功績を称え深く感謝の意を表します

平成三十年九月一日

しんえい西自治会

会長 花 松 肇

自治会内敬老者(85歳以上の方)にお祝いを贈呈

自治会では、去る9月17日(月・祝)に自治会内敬老者(85歳以上の方)全20名の方に敬老のお祝いを贈呈しました。贈呈は約ひと月前から現在当自治会内にお住まいか、施設にお住まいか等の事前確認調査を行い、お祝い贈呈者数を確定させて頂きました。該当するご家族様にはご協力を頂き有難うございました。

当日は、敬老者をお祝いするかのようなさわやかな日本晴れのお天気の中、花松会長・水鳥部長・瀬戸山総務部長の3人で各敬老者宅を訪問し、お祝い(赤飯、総菜、お茶、自治会長からのお祝いメッセージ)をお届けしました。各敬老者からは、それぞれ感謝の言葉を頂きました。この場をお借りしまして、ご紹介させていただきますと共に、敬老者の今後の益々のご健勝をお祈り申し上げます。



(水鳥社会福祉部長)

ゴミステーションの管理について

当自治会のゴミステーションは、他の町内会では見られない位、管理が行き届いていると思いませんか？何故でしょう。それは、川村、坂下両環境衛生副部長のお陰なのです。お二人は、常にゴミステーションに気配りしています。ゴミステーションに少しでも異常があれば直ちに修理・保全に対処してくれるからです。

お二人は環境衛生副部長の業務に就いてから、既に3年目に入りました。時間をかけて丁寧に直してくれるお二人に感謝申し上げます。また、間もなく積雪の時季を迎えますが、寒冷期の修理は大変な作業となることでしょう。引き続きよろしく願いいたします。
(大馬環境衛生部長)

交通安全旗を更新

自治会地域内に4本の交通安全旗が掲揚されています。この度、旗も支柱も相当朽ち果てて来ましたので、秋の交通安全運動期間に因んで、10月1日に総務部の協力を頂き交換しました。間もなく厳しい冬を迎えますが、悲惨な交通事故のないしんえい西自治会でありたいものです。

(久保交通安全対策部長)

古部様宅地先の見事な歩道花壇に感謝

皆様ご覧のとおり、真栄4条1丁目の古部様宅とみどり歯科の間の歩道花壇(約40m)は、毎年見事な花を咲かせて道行く人の心を和ませています。この花壇ははるにれ会会員でもあります、佐藤 晟・ナリ子ご夫妻、川村富子さん(いずれも2班)の3人が協力して、あのようにきれいな花を咲かせてくれています。酷暑の日は、あおぞら公園から水を運び、しなびた花卉は除去し、常に気配りを怠らず一所懸命に育てた花壇です。今年も花の見頃は残すところ後ひと月余となりましたが、3人のご協力に感謝とご紹介をいたします。
(瀬戸山総務部長)

自治会防犯防災会議を開催

自治会防犯防災部では、10月6日(土)18:30時から自治会館において、防犯防災会議を開催しました。会議には、花松会長、瀬戸山総務部長、堀川会計部長、佐崎総務副部長、岡本総務副部長、田中防犯防災部長、石井防犯防災副部長の7名が参加し、① 自治会内の防災組織 ② 防犯状況③ 防災資材の現状等 の確認について検討、審議しました。

この度の胆振東部地震の生々しい被害を見て、一層身の引き締まる思いで貴重かつ有意義な意見あり、今後の自治会の防災に向けて検討して行くこととなりました。方針等が決まり次第、別にお知らせする予定です。

今回の台風・地震災害に関する防犯防災部の報告

9月4日夜半から台風による強風、翌朝9月5日、町内では真栄西公園、あおぞら公園で数本の倒木のほかに、屋根のトタンの一部が剥がれ道路への落下等がありましたが、大きな被害は無かったようです。そして、6日未明の大地震、直後の停電、ブラックアウト、オール電化のお宅では炊事や調理もままならず、

マンションでは、給水ポンプが停電により停止して、水道も使えなくなる事態となりました。

7日の夜、街灯は点かず町内は暗いままの状態、治安・防火のため、総務部と防災防犯部による町内巡回パトロールを行いました。巡回途中、午後8時20分頃街灯が点灯、電気が回復。通電時のショートによる被害もなく安心致しました。

地震当日の9月6日より清田緑小学校に避難所が開設、清田中央地区で9日朝に閉所されるまでに利用された方は延べ65組にのぼり、自治会から、避難所支援のため、2名(田中防災部長、佐崎総務副部長)が参加しました。今後、懸念されるのは北海道電力火力発電所の老朽化による電力確保の問題、地球温暖化による異常気象などに対して、どの様に対応するべきなのかをこの機会に一度、ご家庭で話し合われるのも良いかと思われます。今後、防犯防災部では2カ月に一度、会議を開いてマニュアルに沿った対応の他、現実的にどのような対応が有効なのかを、これからの課題として考えていきます。また、しんえい西自治会会員の皆様からも、率直なご意見をお聞かせいただけましたら幸いです。

田中防犯防災部長：



・台風21号により倒木したあおぞら公園の樹木

・災害時の停電による対応等一

1. 必ずブレーカーを下す。(通電時にショートによる火災防止のため)
2. LEDライトなど(省エネ型で効率の良いもの)を準備しておくこと。
3. 火気の取り扱いに十分注意すること(地震の場合特に、ろーそくなどは余震が起きるので危険)
4. 防犯に関して(鍵の施錠確認・特に夜間は不必要な外出は控える)
5. 普段から、近所の連携を確認しておくこと

(以上、田中防犯防災部長)

転入会員のご紹介

【転入】	平成30年7月29日	第 7 班	寄谷 徹 (よりたに とおる) 様
【転入】	平成30年10月9日	第 8B 班	横山 正典 (よこやま まさのり) 様

編集後記

私は以前、釧路市に住んでおり大きな地震を3回ほど経験しておりますが、まさか札幌でこの様な大きな地震があるとは思いませんでした。それに続き、まる二日間に及ぶ停電があり予想以上の困難を極めました。逆に電気のありがたさ・・・電気がなければ何も出来ないんですね！？
この度の地震で有って良かった物の第一位は、乾電池式のA.Mラジオでした。これにより、現在の状況を把握することが出来ました。(必ず電池を外して別に保管することをお勧めいたします。)普段、何気なく使っていた電気ですが、通電した時、何故かとても幸せな気持ちになりました。(佐崎 芳郎)